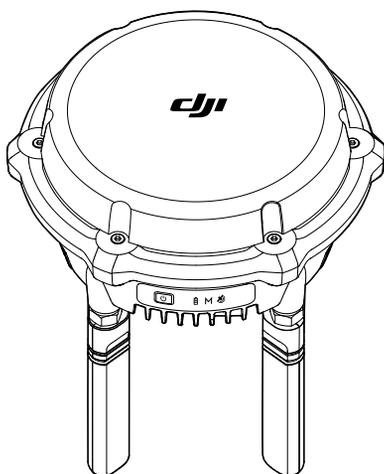


# D-RTK 3

## 多機能ステーション

### ユーザーマニュアル

v1.0 2025.01





本書は、DJI の著作物であり、すべての権利は DJI に帰属します。DJI から別途許可されていない限り、本書の複製、譲渡、販売を行ったり、本書または本書の一部を使用、または他の人に使用を許可したりすることはできません。ユーザーは、本書とその内容を DJI 製品の操作に関する指示を参照する目的にのみ使用してください。本書を他の目的で使用しないでください。言語版によって相違がある場合には、英語版が優先されます。

### キーワードの検索

「バッテリー」や「取り付け」などのキーワードを検索することでトピックを探すことができます。Adobe Acrobat Reader を使用して本書をお読みの場合、Windows では Ctrl+F、Mac では Command+F を押して検索を開始できます。

### 任意のトピックに移動

目次の全トピック一覧が表示されます。トピックをクリックすると、そのセクションに移動します。

### 本書を印刷する

本書は高解像度印刷に対応しています。

# 本マニュアルの使用方法

## 凡例

△重要

💡ヒントとコツ

📖参考

## ご使用前にお読みください

まず、すべてのチュートリアル動画を視聴し、次にパッケージに同梱されているドキュメントとこのユーザーマニュアルをお読みください。

本製品の取り付けおよび使用中にご不明な点や問題がある場合は、公式サポートまたは正規代理店にお問い合わせください。

## チュートリアルビデオ

以下のアドレスにアクセスするか QR コードをスキャンすると、チュートリアルビデオを視聴でき、製品の安全な使用方法を知ることができます：



<https://enterprise.dji.com/d-rtk-3/video>

## ダウンロード DJI Enterprise App

QR コードをスキャンして、最新版をダウンロードしてください。



- 💡 • アプリがサポートするオペレーティングシステムのバージョンを確認するには、次を参照してください：<https://www.dji.com/downloads/djiapp/dji-enterprise>.

- アプリのインターフェースおよび機能は、ソフトウェアのバージョンが更新されると変わる場合があります。実際のユーザー体験は、使用するソフトウェアのバージョンによって異なります。
- 

## DJI Assistant 2 のダウンロード

以下のリンクから、DJI ASSISTANT™ 2 (Enterprise シリーズ) をダウンロードしてインストールします。

<https://www.dji.com/downloads/softwares/assistant-dji-2-for-matrice>

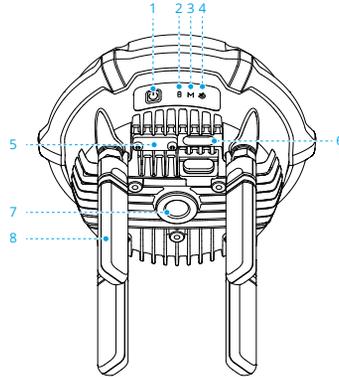
# 目次

本マニュアルの使用方法	3
凡例	3
ご使用前にお読みください	3
チュートリアルビデオ	3
ダウンロード DJI Enterprise App	3
DJI Assistant 2 のダウンロード	4
1 製品の特徴	7
1.1 概要	7
1.2 対応製品一覧	7
1.3 電源オン	7
1.4 アクティベーション手順	8
2 セットアップ	9
2.1 環境要件	9
2.2 お知らせ	9
2.3 セットアップ	9
3 使用方法	11
3.1 お知らせ	11
3.2 電源ボタン	11
3.3 インジケーター	12
バッテリー残量インジケーター	12
モードインジケーター	12
GNSS 信号インジケーター	12
その他	12
3.4 操作モード	13
3.5 データのエクスポートと処理	13
4 メンテナンス	15
4.1 ファームウェアの更新	15
お知らせ	15
DJI Pilot 2 の使用	15
DJI Assistant 2 の使用	15
4.2 ログのエクスポート	16
DJI Assistant 2 の使用	16
4.3 保管、移動、およびメンテナンス	16
4.4 部品交換	16
5 付録	18



# 1 製品の特徴

## 1.1 概要



- |                  |                             |
|------------------|-----------------------------|
| 1. 電源ボタン         | 5. 予備ポート <sup>[1]</sup>     |
| 2. 電源インジケータ      | 6. USB-C ポート <sup>[1]</sup> |
| 3. モードインジケータ     | 7. 5/8"-11 UNC ネジ穴          |
| 4. GNSS 信号インジケータ | 8. OcuSync 指向性アンテナ          |

[1] 使用しないときは、必ずポートを覆うようにして、湿気やホコリから製品を守ってください。

- 💡 • DJI Assistant 2 を使用する際は、USB-C - USB-A ケーブルを使用して、デバイスの USB-C ポートを、パソコンの USB-A ポートに接続してください。

## 1.2 対応製品一覧

以下のリンクから対応製品をご覧ください：

<https://enterprise.dji.com/d-rtk-3>

## 1.3 電源オン

初めて使用する前に、本製品の内部バッテリーを充電してアクティベーションしてください。DJI 65W ポータブル充電器など、電圧が 9 ~ 15 V の PD3.0 USB 充電器を必ず使用してください。

1. 充電器を D-RTK 3 の USB-C ポートに接続します。電源インジケータが点灯したら、バッテリーが正常に起動しています。使用前に、必ずインジケータが緑色になるまで充電してください。
2. 電源ボタンを 1 回押してから長押しすると、D-RTK 3 の電源をオン/オフにできます。

-  • 推奨されていない充電器（5V 出力の充電器など）を使用した場合、D-RTK 3 は電源をオフにした後でなければ充電できません。
- 

## 1.4 アクティベーション手順

初めて使用する前に、D-RTK 3 をアクティベーションする必要があります。GNSS 信号インジケータ  は、アクティベーションされていないときは赤色に点滅します。

- D-RTK 3 を基地局/リレーステーションとして使用する場合、機体と送信機に接続する際に、DJI Pilot 2 アプリの指示に従って D-RTK 3 をアクティベーションできます。アクティベーション中、送信機がインターネットに接続されていることを確認してください。
- ローバーステーションとして使用する場合、または DJI Pilot 2 からアクティベーションが促されていない場合は、DJI Assistant 2 (Enterprise シリーズ) の最新バージョンをダウンロードしてください。USB-C ケーブルを使用し、D-RTK 3 をパソコンに接続します。DJI Assistant 2 を開き、指示に従ってデバイスをアクティベーションします。

## 2 セットアップ

### 2.1 環境要件

- ・ 設置環境には、広い視野が必要です。GNSS 信号の吸収または遮断を防ぐため、本製品アンテナの水平平面上 15°以上の区域内に障害物（木や建物）がないことを確認します。
- ・ 本製品は、開放的で無線干渉のない環境で使用してください。本製品と同じ周波数帯を利用する無線機器は使用しないでください。
- ・ 設置場所は、GNSS 信号への電磁干渉を避けるため、高電力放射線源（テレビ局、マイクロ波局など）から少なくとも 200m、高電圧伝送線から少なくとも 50m 離れている必要があります。
- ・ マルチパス効果を減らすため、設置場所は、衛星信号の受信を強く妨害する大面積の水面や物体から離れている必要があります。

### 2.2 お知らせ

- ・ 取り付け時にケーブルを過度に曲げたり折りたたんだりしないでください。
- ・ 取り付けおよび配置の際は、D-RTK 3 の上面が水平面とほぼ平行であることを確認してください。
- ・ 出荷前から製品にすでに取り付けられている部品は、絶対に分解しないでください。

### 2.3 セットアップ

#### 基地局／リレーステーション

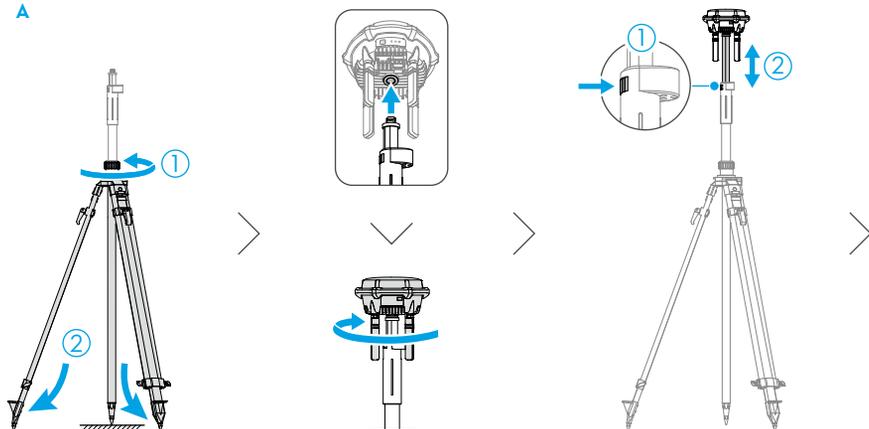
セットアップには、サーベイポールと三脚キット（別売り）を使用します。遮るものがなく、開放的な環境を選ぶようにしてください。使用中、三脚が安定していることを確認してください。（図 A）

三脚が水平になった後、三脚または D-RTK 3 の位置または角度を変更しないでください。変更した場合は再調整する必要があります。

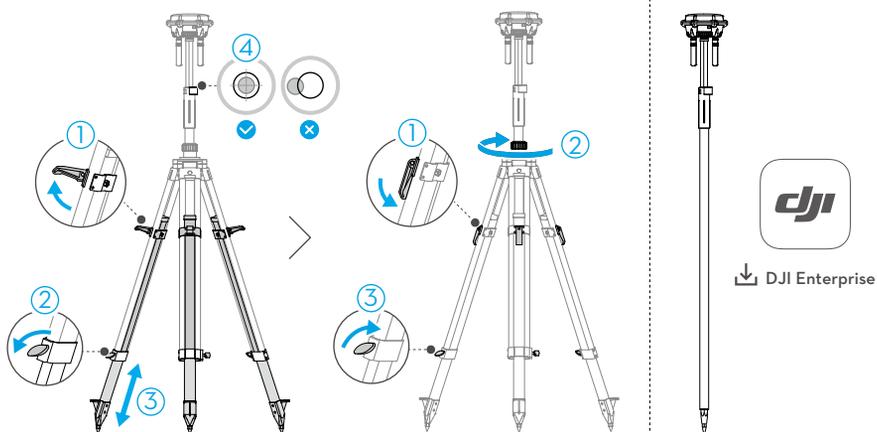
#### ローバーステーション

サーベイポールを使用するだけです。DJI Enterprise App をダウンロードしてインストールします。（図 B）

A



B



## 3 使用方法

### 3.1 お知らせ

- 製品は、対応する周波数帯域においてのみ、現地の法規制に従って使用してください。
- 使用中は、製品のすべてのアンテナを妨げないでください。
- 純正部品または正式に認定された部品のみを使用してください。非純正の部品を使用すると、システムに不具合が発生し、安全性が損なわれるおそれがあります。
- 製品内に水、オイル、土、砂などの異物がないことを確認してください。
- 測量ポールと三脚の端は鋭くなっているため、お取り扱いの際はご注意ください。
- 測量ポールと三脚を使用して設置や高さ調整を行う際は、周囲の環境に注意し、転倒や感電の危険を防いでください。
- 雨天や雪の日にデバイスを使用する場合は、必要な防水対策を講じてください。慎重に使用し、落雷防護に注意を払ってください。
- 本製品には精密部品が含まれています。衝突を避け、精密部品が損傷しないようにしてください。
- 輸送後、測量ポールの気泡管がずれる場合がありますが、底部のネジを使用して再調整できます。

### 3.2 電源ボタン

電源ボタンを1回押してから長押しし、製品の電源をオン/オフします。

電源ボタンを3回押すと、動作モードが切り替わります。

ローバーステーションを使用する場合、電源ボタンを5秒間長押ししてリンク状態に入ります。

ベーステーションを使用する場合、電源ボタンを8秒間長押ししてパスワードをリセットします。

-  製品の電源をオン/オフする操作の前に電源ボタンが押されると、製品の電源をオン/オフできない場合があります。この場合、少なくとも5秒間お待ちください。その後、電源のオン/オフ操作を再度行ってください。

## 3.3 インジケーター

### バッテリー残量インジケーター

	バッテリー残量
	60%~100%
	20%~60%
	20%未満

-  • バッテリーが低下すると、ブザーが連続的にピーブ音を発します。
- 充電中、充電電力が十分な場合はインジケーターが速く点滅し、不十分な場合はゆっくり点滅します。

### モードインジケーター

	操作モード
	ベースステーション
	ローバーステーション
 [1]	リリースステーション

- [1] 点灯：送信機と機体の両方に接続済み。  
点滅：未接続または1台のデバイスにのみ接続済み。

### GNSS 信号インジケーター

	受信した衛星
	> 30
	10-30
 [1]	< 10

- [1] ゆっくりと点滅：本体がアクティベーションされていない。

### その他

インジケーター	ブザー	デバイスの状態
 同時に点滅	/	ファームウェアの更新中
 同時に点滅	ピーブ音が1回鳴る	モードスイッチ
 交互に点滅	ピーブ音が連続して鳴る	リンク中
 同時に点滅	/	パスワードのリセット

## 3.4 操作モード

- **M** ベースステーションモード：複数の互換性のある機体を同時に操作するときの精度を向上できるように、センチメートルレベルの正確な測位データを提供するために使用されます。
- **M** リリーステーションモード：互換性のある指定機体 1 台と送信機に接続した後、高所に設置して、操作中の信号遮断を回避するための通信中継として使用します。
- **M** ローバーステーションモード：ハンドヘルドのマッピングデバイスとして使用します。制御点/チェックポイントの測定を行います。

以下のリンクをクリックするか、または QR コードをスキャンして、使用情報に関するチュートリアル動画を見ることをお勧めします。



<https://enterprise.dji.com/d-rtk-3/video>

- 
- ⚠️ • 製品の設置や高さ調整を行う際は、周囲の環境に注意し、転倒や感電の危険を防いでください。
- 
- 💡 • ローバーステーションを使用する際は、DJI Enterprise App の測量ポール設定の高さが、実際の高さと一致していることを確認してください。
  - ベースステーションを使用する際、DJI Pilot 2 の精密測位設定で、製品の名前を変更したり、パスワードをリセットしたりすることができます。
- 

## 3.5 データのエキスポートと処理

### ベースステーション/リリーステーション

1. 生の衛星観測データは、RTCM3.2 プロトコルに従って DAT 形式のファイルに記録され、製品の内部ストレージに保存されます。
  2. デバイスの電源を入れます。USB-C ケーブルで、デバイスをパソコンに接続します。
  3. 生の衛星観測データをエキスポートします。
  4. データを DJI Terra にインポートして、ローカルで PPK 処理を行います。詳細は DJI Terra ユーザーマニュアルを参照してください。
- 
- 💡 • バージョン 4.4 以降の DJI Terra を使用してください。

- サードパーティのデコードツールを使用して、DAT 形式のファイルを RINEX または他の形式に変換して PPK 処理を行うこともできます。
- 

### ローバーステーション

タスクを完了したら、DJI Enterprise App のタスクライブラリからタスクレポートをエクスポートします。エクスポート形式は、DJI Terra 用の JSON 形式のマークファイルと、CSV (UTF-8) 形式のチェックポイントファイルをサポートしています。

- マークファイル: DJI Terra に移動します。**GCP 管理 > マークファイルのインポート**を使用して、GCP ポイントをインポートします。DJI Terra は GCP の種類を自動的に認識し、エラーをマークして、結果のチェックと精度の最適化を行います。
- チェックポイントファイル: 精度チェックのためにサードパーティのマッピングツールにインポートできます。

## 4 メンテナンス

### 4.1 ファームウェアの更新

リリースステーションモードのみが、ファームウェアを更新するために DJI Pilot 2 を使用できます。すべての操作モードで、ファームウェアを更新するために DJI Assistant 2 を使用できません。

#### お知らせ

- ⚠️ • ファームウェアを更新する前に、デバイスがフル充電されていることを確認してください。
- すべての手順に従って、ファームウェアの更新を行ってください。すべての手順に従っていない場合、更新に失敗します。
- 使用中のソフトウェアを最新バージョンに更新してください。更新中は、送信機またはパソコンがインターネットに接続していることを確認してください。
- ファームウェアを更新する際、製品が再起動するのは正常です。ファームウェアの更新が完了するまでしばらくお待ちください。

#### DJI Pilot 2 の使用

1. D-RTK 3 が送信機とリンクされていることを確認します。
2. アプリを実行し、プロンプトに従って更新を行います。

💡 機体と送信機を同時に使用して製品を更新することはできません。

#### DJI Assistant 2 の使用

1. デバイスの電源を入れます。USB-C ケーブルで、デバイスをパソコンに接続します。
2. DJI Assistant 2 を起動して、アカウントでログインします。
3. デバイスを選択し、画面左側にある**ファームウェア更新**をクリックします。
4. 更新するファームウェアのバージョンを選択し、クリックして更新します。ファームウェアが自動的にダウンロードされ、更新されます。
5. 「更新に成功しました」というプロンプトが表示されると、更新が完了し、デバイスが自動的に再起動します。

💡 • 更新中は、USB-C ケーブルの接続を外さないでください。

## 4.2 ログのエクスポート

リレーステーションモードのみで、DJI Pilot 2 を使用してログをエクスポートできます。すべての動作モードで、DJI Assistant 2 を使用してログをエクスポートできます。

### DJI Assistant 2 の使用

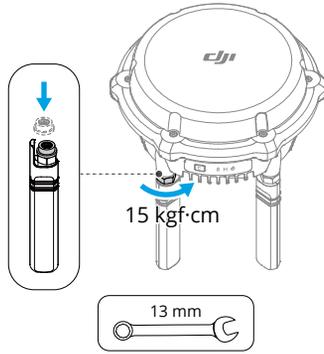
1. デバイスの電源を入れます。USB-C ケーブルで、デバイスをパソコンに接続します。
2. DJI Assistant 2 を起動して、アカウントでログインします。
3. デバイスを選択し、画面左側にある**ログのエクスポート**をクリックします。
4. 指定されたデバイスのログを選択して保存します。

## 4.3 保管、移動、およびメンテナンス

- 3 か月以上保管する場合は、製品を-5~30℃の温度範囲の環境で保管することをお勧めします。
- 長期間保管する場合は、製品を 30%~50%の電力レベルで保管することをお勧めします。製品を完全に放電した後で長期間保管しないでください。バッテリーが過放電し、バッテリーセルに修理不能な損傷が発生するおそれがあります。
- バッテリーが長期間空の状態では保管されている場合、ハイバネーションモードに入ります。バッテリーを再充電すると、ハイバネーションモードが解除されます。
- 暖炉やヒーターなどの熱源の近くや直射日光のあたるところ、または暑い日の車内に製品を放置しないでください。
- 製品を乾燥した環境に保管してください。保管中にアンテナを分解しないでください。ポートがしっかりと覆われていることを確認してください。
- バッテリーを良好な状態に保つために、少なくとも 6 か月に 1 回は製品を完全に充電してください。
- いかなる方法でも本製品の分解を行わないでください。バッテリーの漏れ、発火、爆発が起るおそれがあります。

## 4.4 部品交換

アンテナを交換する際は、アンテナを製品に取り付ける前に、アンテナのコネクターにゴムスリーブを装着してください。分解および組み立ての要件を満たすツールを使用することをお勧めします。取り付け時には指定されたトルクで締めてください。



## 5 付録

### 5.1 仕様

仕様については、以下のウェブサイトを参照してください。

<https://enterprise.dji.com/d-rtk-3/specs>

お問い合わせ



連絡先

DJI サポート

内容は予告なく変更する場合があります。  
最新版は下記よりダウンロードしてください



<https://enterprise.dji.com/d-rtk-3/downloads>

本書についてご質問がある場合は、以下にメッセージを送信して DJI までお問い合わせください。**DocSupport@dji.com**

DJI および D-RTK は DJI の商標です。

Copyright © 2025 DJI All Rights Reserved.